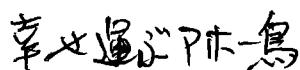


3/31(土) まいび！ 倫理号です。不思議ですね 木山はスイレンが好きと支出来  
歩く店で37shnご。金錢は自分を活かして 便にいい人や会社のちどり集まつて習性す  
今週の倫理 1075号 持つていい人が 31で 人も 2018.3.31 ~4.6  
生物も人情報を同じく集まつてCS/海難について。

今週の倫理 1075号

2018.3.31 ~4.6



三月のテーマ

お金と倫理

# 金銭が自ずと 集まる会社とは？

• 城谷俊也

金

## 錢の倫理をテーマにした講

講師を駅まで送迎しました。以下

はその時の会話です。

妻一札（紙幣）にアイロンをかけると、なぜか家計費の支出が少

講義「そこは不思議ですね

夫「本当にそうなのです。以前

は家内に言われるまま、毎月三十万円ずつ渡していました。足りない時は、そのつど必要額を渡して  
いたんです」

妻「今月は少し足りなくて…」  
と追加をお願いすると、決まって  
夫婦喧嘩になるのですが、お札に  
アイロンをかけ始めてから、一度  
も夫婦喧嘩がないんです。追加の  
要求をしないから（笑）」

夫「追加要求どころか、妻のほうから『家計費は月二十万で大丈夫』と言うのですから、喧嘩にならねばなりませんよ」

妻「うーん、なぜでしょう」  
夫「同居する家族の人数が変わ

つたわけでもないし、保険の契約を変えるなど、特別な手立てをした覚えもないしなあ」

妻「強いていえば、お札にアイロンをかけるようになつてから、支払いをする際に〈これは〇〇のお金、これは〇〇に要する費用〉というように、お金の使い道に気を配るようになりました」

講師「なるほど。それで結果として、使途不明の無駄遣いがなくなつて、不要な物を買わなくなつたのかもしれませんね」

妻「それに、ひと手間かけてシワを伸ばしたお札でしよう。支払うをする時も、自然に〈行つてらつしやい、またお友達を連れて帰つてきてね〉と、心の中で唱えて送り出すようになりましたね」

夫「たしかにそうかもしれません。…それにしても、これまでの十万円はどこに消えていたんだ」

そう言いながらも、「」主人は目を細めています。

\*

紙幣にアイロンをかけ、しわを伸ばして扱うことは、金錢を大切にすることです。

これを企業経営に応用した場合、「何のために」利益を上げるのか、その利益を「何に使うのか」と問い合わせるうちに、経営のより高い精神的意義が明確になります。簡単に欲望から金錢を残そとするのではなく、利潤を得て、永続的に社会に貢献できる会社を目指すなら、そのためには会社を大きくしようとすることは、「活きた金錢の使い道」に他なりません。

金錢は、自らを活かして使ってくれる人や会社のもとに集まるという習性を持つています。また、よい会社には、「金錢だけではなく、人も情報も同じように集まつてきます。」

金錢の習性をよく理解し、金錢が友達を連れて集まつてくるような会社、「儲ける」のではなく、必ず「儲かる」ような会社を目指したいものです。